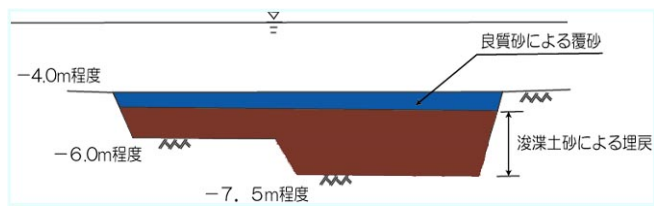


三河湾の環境改善への取り組み(深掘跡修復による苦潮等の対策)

- 三河湾(三河港御津地区、大塚地区、田原地区、衣浦港)において、苦潮の原因となる貧酸素水塊の発生原因の1つと考えられている深掘跡修復を、愛知県と国土交通省が協力して実施している。
- 修復した深掘跡については、愛知県が良質な浚渫砂等による覆砂工事を施工中(平成17年度～)



三河湾奥部の深掘跡



深掘跡修復の内容

写真1. 窪地近傍
冬期生き延びたアサリ、サルボウ等が貧酸素の影響で死滅した。

写真2. 窪地内
水中を漂う有機懸濁物が多い。

写真3. 窪地内
わずかに酸素があり、このような条件下で増えるバクテリアが繁栄、白いカビ状のマットを形成。動物は皆無

三河湾における深掘跡修復実施状況

■事業等の実施状況

- ①御津地区深掘箇所埋戻し
埋戻し規模:約150万 m^3 (~H16)
良質土による覆砂を完了(~H29)
- ②大塚地区北側深掘箇所埋戻し
埋戻し規模:約7万 m^3 (H22~23)
埋戻し材料:中詰土(航路浚渫)、覆砂(御津2区)
- ③大塚地区深掘箇所埋戻し
埋戻し規模:約160万 m^3 (H17~19)
約70万 m^3 (H28~)
埋戻し材料:港内浚渫土砂
- ④田原地区深掘跡埋戻し
埋戻し規模:約323万 m^3 (H25~)
埋戻し材料:港内浚渫土砂
- ⑤衣浦深掘跡埋戻し
埋戻し規模:約330万 m^3 (H26~)
埋戻し材料:河川浚渫土砂、港内浚渫土砂

